

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 年 月 日

事業所名

えがお福島区店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		集団活動ができる広い部屋(1部屋)、個別トレーニングができる部屋(2部屋)を用意しています。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。保育士等福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフの配置に努めています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		生活の流れに見通しがもてるよう、視覚支援や聴覚支援を取り入れています。	施設が2階にあるため、手すりの活用や職員の配置を行い安全対策を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		個別トレーニング室は運動面と作業面で必要に応じて使い分けています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			PDCAサイクルを心がけ、話し合いが行える時間を確保していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			事業所評価アンケート調査を行い、結果を公表すると共に職員間でも結果を共有し、業務改善につなげていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		<input type="radio"/>		HPIにて公開をおこなっていく予定です。ご要望があれば、紙面でのお渡しも実施します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		現在は保護者様の評価と事業所内評価のみですが、今後必要に応じて外部評価の実施も検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		毎月様々な研修を行い、知識の向上を図っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		利用に際しての見学や体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握し、個別支援計画の参考にさせていただきます。ありがとうございます。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>			ガイドラインやヒアリングの内容をもとに計画を作成していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		個別支援計画に沿った支援を行っております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		毎月のプログラム決めは全員で行い、個々で案を出し合っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		課題や活動の目的、その日のお子様の体調や機嫌に合わせてサポートを行っています。	一人ひとりの発達や状況に応じた課題設定となるよう、日々職員間で確認しながら行っています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		個別と集団での活動を組み合わせています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎朝情報共有を行い、支援内容等を確認し支援に当たっています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		翌日の朝礼で支援内容の報告を行っています。	報告内容を踏まえ、次回の活動のステップアップや改善につなげていきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		複数の視点からの支援について意見交換をし、次の支援につなげています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		6か月に1度、見直しをおこなっています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		開催される場合には、児童発達管理責任者や保育士等適任者を選んで出席しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>		関係機関とは電話や手紙、対面等でこまめに情報共有を行っています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			※対象児なし	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			※対象児なし	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		移行先や保護者様の要望に応じて情報共有を行っています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		<input type="radio"/>		事業所として交流活動等の実施はありませんが、今後連携を図ったり参加をしていきたいと思っています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>		
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>	子ども部会がないです。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		連絡ノートや送迎時に対面で日々の情報共有を行っています。必要に応じて個別で相談の時間も設けています。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>			保護者の方と定期的に面談や相談を行っています。また職員はペアレント・トレーニングの知識を習得できるように研修に参加していきます。
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に説明をさせていただいております。	不明な点は随時職員が説明をさせていただきます。	
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>		6か月を目安にモニタリング、個別支援計画の更新を行い、支援内容を説明し同意を得ています。		
34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		保護者からの相談は職員で共有し、適切な言動を心掛けています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	35		○		交流が図れるよう、内容を検討していきます。
	36	○		保護者からの相談等があった時には朝礼等でも伝え、職員全員で情報を共有するようにしています。	
	37	○		プログラムの詳細等は個別にラインや紙面等で配布しています。	
	38	○		利用時に確認し、保管についても注意しています。	
	39	○		視覚的に分かりやすく配慮するなど、伝える方法をお子様や保護者様に合わせるようにしています。	
	40		○		地域の方と交流ができる場の提供も行っていく。
非常時等の対応	41	○			職員の話し合いの場にて対応方法の確認を行ったり、周知・訓練に日々努めています。
	42	○		年に2回訓練を行っています。	
	43	○			保護者様から健康状態を把握し必要に応じて聞き取りを行っていきます。健康上の配慮や注意点については職員が意識できるよう確認と周知を行っていきます。
	44	○			
	45	○		記録を残して職員が情報を共有できるようにしています。	
	46	○		事業所内で研修を行っています。	
	47	○			対象児童がいる場合は個別支援計画に記載していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。